| 授業科目名：<br>自閉症児・者の心理 | 教員の免許状取得のための選択科目 | 単位数：<br>２単位 | 担当教員名：<br>平野　敏惠<br>担当形態：単独 |
|---|---|---|---|
| 実務内容<br>（実務家教員の場合） | | | |
| 科　目 | 特別支援教育に関する科目 | | |
| 施行規則に定める<br>科目区分又は事項等 | 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 | | |

「学位授与の方針」との関係
多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。

授業の到達目標及びテーマ
ここでは、発達障害といわれる自閉スペクトラム症（ASD）を中心に、行動上の特徴をまとめる。彼らの持つ「生きにくさ」とは何かを考え、アプローチの方法を理解する。母親等の主な養育者の役割の重要性について具体的に考える。自閉スペクトラム症の「心の理論」について理解する。自閉スペクトラム症に併存率の高い ADHD、LD 等についても学ぶ。

授業の概要
（１）発達障害とは。
（２）自閉スペクトラム症の行動上の特徴を、診断基準を参考にまとめる。ADHD、LD 等についても学ぶ。
（３）養育における母親等の主な養育者の役割の重要性とその支援について。
（４）自閉スペクトラム症児・者へのアプローチをめぐって。
（５）自閉症（自閉性障害）とアスペルガー障害の違い。連続性としての「自閉スペクトラム症(ASD)」。
（６）自閉スペクトラム症における「心の理論」とは。

授業計画
第１回：発達障害があるとは、どのようなことか。
第２回：自閉スペクトラム症の行動上の特徴は何か。DSM-5 の診断基準を参考にまとめてみる。
第３回：ADHD、LD 等についても調べる。
第４回：自閉スペクトラム症とはどのような人たちか。（心理的・生理的・病理的特性）。
第５回：初期の自閉症理解について学ぶ。
第６回：アスペルガーのいう自閉症とは。
第７回：自閉症（自閉性障害）とアスペルガー障害の違いは。自閉スペクトラム症とは。
第８回：自閉症スペクトラム症のある人が持つ長所・苦手なことをまとめる。
第９回：母親等の主な養育者の役割の重要性とその支援について考える。
第１０回：多様なアプローチの方法（基礎）を学ぶ。
第１１回：多様なアプローチの方法（応用）を学ぶ。
第１２回：自閉スペクトラム症における「心の理論 」について学ぶ。
第１３回：成人期の自閉症者たちの生き方について考える。
第１４回：「発達障害者支援法」とは。（改正：平成 28 年）

| |
|---|
| 第１５回：まとめと「自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害」ASD とは<br>定期試験 |
| 教科書<br>寺山 千代子（2016)『自閉スペクトラム症の展開』金剛出版 ISBN978-4-7724-1486-9 |
| 参考文献<br>（１）American Psychiatric Association (2013)：Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders DSM-5 、高橋三郎、大野裕監訳（2014)：DSM-5、精神疾患の診断・統計マニュアル、医学書院<br>（２）American Psychiatric Association(2000)：Quick Reference to the Diagnostic Criteria from DSM-Ⅳ-TR、高橋三郎、大野裕、染谷俊幸訳（2003)、精神疾患の分類と診断の手引き、医学書院<br>（３）テンプル・グランディン 中尾ゆかり 訳 （２０１０）『自閉症感覚 かくれた能力を引き出す方法』日本放送出版協会<br>（４）文部科学省（編)『特別支援学校幼稚部教育要領・小学部・中学部学習指導要領』『特別支援学校高等部学習指導要領』<br>（５）発達障害者支援法(平成 16 年 12 月 10 日法律第 167 号)が改正されたのは、平成 28 年 6 月 3 日であり、法律第 64 号となった。 |
| 学生に対する評価<br>レポート評価（５０%)、科目修得試験（５０％）の割合で総合して評価する。 |